

フリステWalker

個別指導学院フリーステップの情報満載



イメージキャラクター
足立佳奈

入試情報室より

【高校受験】併願校の選び方・使い方

オープンキャンパスのススメ

首都圏中学入試問題分析

2020年 首都圏中学入試からわかる3つのこと

ブチ教育学

戦後の教育改革

フリステwalker執筆者座談会

この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校休校措置により、この間の自宅での過ごし方や学習法について苦慮されている生徒・保護者が多いとお聞きしています。

当塾ではこれからも、様々なアイデア、取り組みにより、地域の皆様と協力して子どもたちの学びをしっかりとサポートしてまいります。

2020 **7** 月
【第141号】

2020 合格体験記 Congratulations!

都立国際高校 国際学科 落合 權人

板橋区立桜川中学校 出身
ときわ台教室

結果を出せたのは、
私に期待してくれたチーフ、
講師、両親のお陰です!

私は、フリーステップに入ったことで、充実した環境で授業を受けることができ、合格を勝ち取ることができたと思います。

私は中学2年生の冬に、フリーステップに入りました。当時の私の成績は、志望校には程遠く、自分でも不安が大きかったです。学校の先生からは、もう少しランクの下を学校をすすめていました。しかし、遠藤チーフは、可能性は十分にある、と私に言ってくれました。私はその言葉に勇気付けられ、日々勉強を頑張りました。

その努力が模擬試験の数字として表われたとき、初めはC判定という結果でした。自分では志望校に合格できない、そういった考えが大きくなりました。しかし遠藤チーフやまわりの講師達の考えは変わらず、落合君なら受かる、と考えてくれました。私は自分のため、また応援してくれる講師達、両親のために、勉強に集中し続けました。そうして模擬試験の回数を重ねるごとに点数、判定もより良くなっていきました。最後にはS判定までたどり着くことができました。私がこのような結果を出せたのは、私に期待してくれたチーフ、講師、両親のお陰だと思っています。とても感謝しています。フリーステップで受けた授業やかけられた言葉は、

合格に直結する力になりました。私がこれまで勉強してこられたのも、その授業や声掛けのお陰で自分の合格を信じることができたからこそです。それは、自分の自信もありましたがまわりの大人が言ってくれることで明確になりました。私はこれから、高校で生活していく中で、フリーステップの講師達が私にしてくれた期待を忘れることなく、自分に厳しく、人に優しく生活していきます。

保護者の方よりメッセージ

親として努力したことは、①楽しく塾に通わせる、②気になることはすぐにチーフに相談する、③子どもを信じて、ひたすらサポートに徹する、ということでした。

フリーステップに通い始めたのは、昨年の1月。志望校すら決まっておらず、遠藤チーフには、英語を武器にできる仕事に就きたい↓そのための大学↓その大学への合格率が高い高校という、逆算型の相談をしました。当時の内申点は、国際には程遠いものでしたが、チーフの「可能性は十分にある」という言葉を信じて1年間集中して受験勉強に励みました。不安なときはいつでも親身になってくれた遠藤チーフ、各講師の方々の優しいお声かけ。毎晩塾から「楽しかった。」と帰ってくるたびに、ほやけていた「合格」の二文字がだんだんと鮮明になってくるのを感じていました。

辛くてもあきらめない強い気持ちを持續させることができたのは、フリーステップのお陰です。講師の方々に心より感謝申し上げます。



関西学院大学 教育学部 森田 愛梨

大阪府立刀根山高等学校 出身
FS 豊中駅前教室 代ゼミ豊中駅前教室

勉強量は必ず自分を
裏切りません!

私が関西学院大学に行きたいと思ったのは、高校1年生の頃でした。その時の成績は合格のこの字もないほどで、大学受験の厳しさから逃げていました。「どうせこんな成績で自分が関学に行けるはずがない。」そんなことを思っている時、「勉強して行けばいいや」と担当の講師から言われました。行けるはずがないと思っていたのが、その講師の一言で実現したい目標に変わりました。しかし現実は厳しく高校合格からなかなか成績が上がっていませんでした。それでも講師は関学という目標のために一度も教えることをあきらめず、その想いが私の勉強の力になっていったんだと思います。高校二年生の冬になって、本格的に大学受験を考えなければいけない時期になり、代ゼミサテラインも受講することになりました。志望大学を聞かれて答えた時、本当にそこでもいいのか、本気なのかを何度も聞かれて、さらに決意が固まりました。合格するために逆算してプログラムを立ててくれた自分の行きたい想いをふみにじらずに後押ししてもらったことで、自分も行けないなんて

思わずに絶対に合格するという気持ちで勉強しようと思いました。サテラインとフリーステップで勉強するようになって、下がりきっていた成績が徐々に上がるようになり、毎日自習室に通って夜まで勉強してそんな日々の連続でした。しんどくて受験をやめたいと何度か思いましたがそれでも頑張りが続けたことができたのは、フリーステップの担当講師、チーフ、サテラインのフェロー、チーフ、友達、家族の存在があったからです。なによりも最後まで信じ続けてくれた講師達がいたから合格できたと思っています。受験は人では乗り越えられませんが、周りにはたくさん講師達や友達がいいます。しんどい時やつらい時には支え合ってください。勉強量は必ず自分を裏切りません。望み続ければ夢は叶います。最後に嬉し涙を流せるように、頑張ってください!



テレビ朝日「報道ステーション」で 「フリーステップ」が 紹介されました！

2020年4月24日(金)。フリーステップの双方向オンライン授業が
全国ネットのテレビ番組「報道ステーション」
(テレビ朝日系 月～金 21:54～23:10放送)で紹介されました。
緊急事態宣言の状況を受け、どのように塾生の「学び」の支援を
行っているのか。
学習塾としてできる具体的な取り組みについて取材を受けました。



実際にオンライン授業を開始して事前の想定以上に
感じたことについても話していただきました。
「この緊急事態を乗り切るためにみんながチームと
なっており、先生・講師・保護者も含めて関係者全員の協力
のおかげで通常授業とおり提供できているの
だなと感じました。」

「今回の取材を通して、フリーステップが常に塾生の『学
び』に対して真剣に取り組んでいるんだということが伝
わってほしい。」
と語っていました。
「新型コロナウイルスの話題が出始めたころから生徒
の安全性を第一で考えており、事前に教室に生徒が来れ
なくなることを想定して準備を進めていました。もち
ろん、通塾リスクなどの高まる中、以前よりオンライン
授業の提供については検討を進めていたんですが、それ
がこの状況を受け、実際に活用されたことは良かったと
思います。授業を担当する講師が在宅となることももち
ろん想定しており、事前に検証を繰り返し行っていたの
で、スムーズにスタートに踏み切れたことも大きかった
です。」

取材内容は塾生、講師、教室チーフへのインタビュー
と、実際の授業風景も撮影。インタビューでは現状のオ
ンライン授業の状況や、緊急事態宣言を受けて学習の取
り組みについての不安や悩み、そしてその克服のために
何をすべきかについての想いなど、それぞれの立場で語
られました。
実際に取材を受けたフリーステップ保谷教室チーフ
の桑原先生は、

「今回の取材を通して、塾生、講師、教室チーフへのインタビュー
と、実際の授業風景も撮影。インタビューでは現状のオ
ンライン授業の状況や、緊急事態宣言を受けて学習の取
り組みについての不安や悩み、そしてその克服のために
何をすべきかについての想いなど、それぞれの立場で語
られました。」

塾生の「学び」に対しての取り組みとは



長い学校休校期間を受け、塾生にとって大切なのは
「学びを続ける」ということ。それを実現するためにいか
に質の高い「双方向のオンライン授業」を提供できるか
がポイントになることが分かりました。
学校がない中で未習範囲も課題となつて大量に出さ
れており、何より受験は待つてくれません。生徒の理解
を深めるために双方向オンライン授業に磨きをかけて
いきます。

「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

また、取材に対応してくださった講師の後藤健太郎先
生からは、
「オンライン授業のため、生徒との交流も限られてい
る現在ですが、どんな形であれ、今後も講師として生徒
の『学び』を続けていくために努力する次第です。そして
生徒自身の成長に少しでも繋がるような授業を心がけて
いきます。」と力強く語っていただきました。

秋田大学 医学部医学科 亀山 夏乃

東京成徳大学高校 出身
保谷教室

時間を有効に
活用できたことが
合格への近道でした！

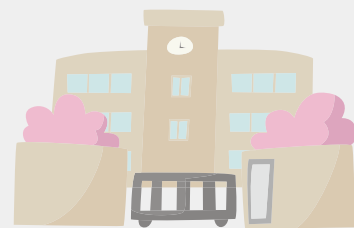
この塾に行こうと思った理由は、兄が通っていたから
という単純なものです。ですが、この塾に通って大正解
でした。
この塾の良い点はいくつかありますが、特に、親切
な講師、自分に合った講師に出会えた点、アットホームで
和やかな雰囲気である点が受験生の私にとって強い味
方でした。私は入塾してから今まで多くの講師にお
世話になりました。特に受験に本腰を入れてから約
二年間、上間先生にはとてもお世話になりました。
講師とは今まで数学の入試問題を何百問と二階に解
いてきました。そして私の質問も最後まで付き合っ
てくださり、授業終了後もチャットに帰るように言われ
るまで熱心に教えてくださりました。自分の時間を割
いて多くの問題を教えてくださった上間先生、担当し
ていないのに質問に丁寧に答えてくださった講師の
方々、いつも相談のつてくださったチャットには感謝の
気持ちでいっぱいです。
良かったなと思う勉強法を紹介します。それは
時間を無駄にしないこと、隙間時間を上手に使うこ
とです。現役生はとも時間がないです。私も時間を

国立大医学部現役合格！模試結果EやD判定、こ
のような状況下で見事合格を勝ち取り、非常に驚き、
興奮し、この上ない喜びと感動を覚えました。特に子
どもの立場に立って指導していただき、また、挫折し、
モチベーションが下がった時も子どもに寄り添ったアド
バイスをくださり、何度も助けられたと娘から聞いて
おりました。
本当にありがとうございました。

保護者の方よりメッセージ

有効に使うと心掛けていたのですが結局センターの
直前で間に合わないと思い、とても焦りました。私は
実際、通学時間、部活動の試合の待ち時間に必ず英
単語帳を見ていました。センターが近くなるとお風呂
にタブレットを持っていき、化学の二問、英語のリス
ニングなどをアプリを使ってしていました。おかげでな
んとかセンターにはギリギリ間に合い、今まで一番良
い点がとれました。
私が医学部に合格できたのは、私の努力だけでな
く、多くの方々の支えがあったからです。私の夢を誰
よりも近くで応援してくれた両親、祖父母、私の受験
を成功に導いてくださったフリーステップ保谷教室の
講師、一緒に励まし合った友達、全ての人の感謝の気
持ちは忘れずに六年間しっかり勉強して多くの命を
救うという形で恩返しします。





入試情報室 藤山 正彦

入試情報室より

【高校受験】

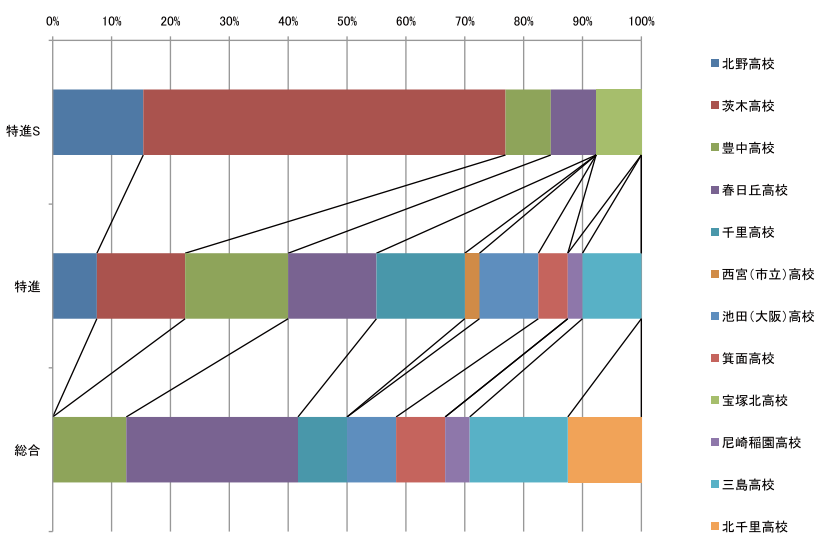
併願校の選び方・使い方

中3生の皆さんは、そろそろ受験する高校名が具体的に絞られてくる時期になってきました。秋口になっても「私は公立高校しか考えていないので、私立高校は受験したくない」という正直な生徒さんの声を聞くことがあります。確かに、第一志望校合格に向けて努力しようとしているときに、あまり進学したくない高校について調べておきなさいといわれると、気持ちいいものではないと思うのですが、ここでは、第一志望の公立高校に安心して出願するため、私立高校の合格切符を持っておきましょう、という話です。ここで、開成教育グループの2020年度入試結果をもとに、大阪の3つの私立高校の「合格コース」と「出願した学校名」の相関を表したグラフを作成してみました。



関西大倉高校は北摂く兵庫県の第2学区の難関公立高校の併願校として知られている学校です。「特進S」という最難関コースに合格した受験生の8割以上が「TOP10高」と呼ばれる最難関公立高校に出願しています。逆に合格者でも「総合コース」だった場合は、「TOP10高」(ここでは豊中高校のみ)への出願が1割程度というわけです。

関西大倉高校 合格コース別 併願公立出願先割合2020



近畿大学付属高校は大阪府の東部にありますので、大阪市内く奈良県の難関公立高校の併願校にもなっています。高校からの募集ではご覧のようにコースが5つに分かれています。「スーパー文理」の合格者のなんと95%以上が「TOP10高」に出願しています。「英語特化」というコースは単純にラ

ンキングの中に入れていくのですが、それぞれの合格コースによって出願校が全く異なることがわかります。

桃山学院高校は大阪市内く大阪南部の併願としても使われる学校です。高校からの募集は5コースですが、このグラフでは「国

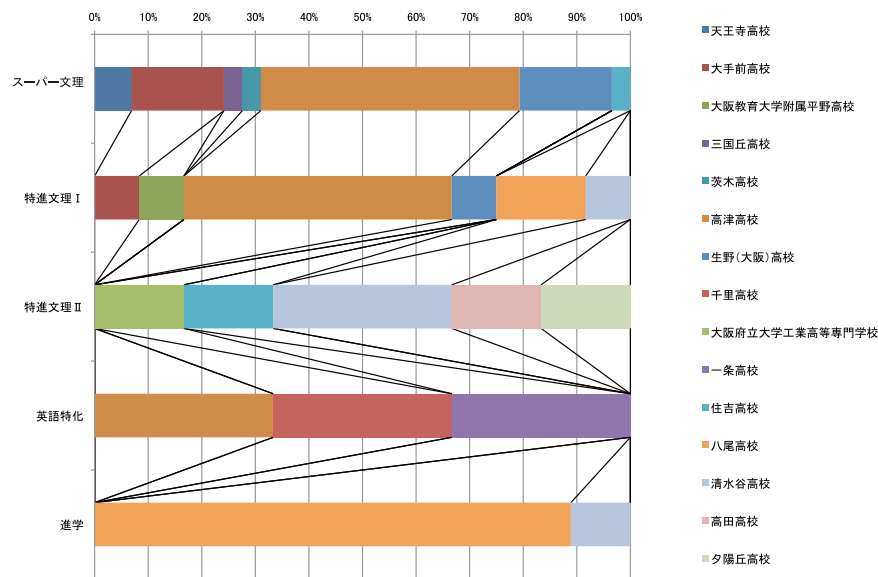
際A」と「国際B」をまとめて「国際」と表記しています。ここでも、「国際」は少しわかりにくいのですが、「S英数」「文理」の3コースで見ると、「S英数」合格者の95%が「TOP10高」に出願しています。

大阪の3校を例に出しましたが、このように複数のコースを持っている学校は、合格コースによってその後の出願校を決めるという使い方ができるわけです。つまり公立高校受験の1か月以内に実施される模擬試験は無く、実質私立高校入試がその役割を果たしているわけです。

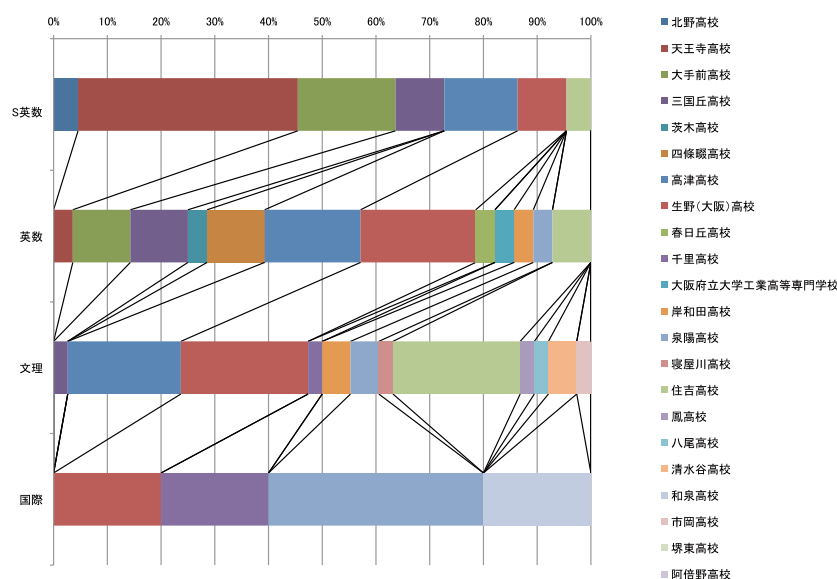
公立の志望校よりも極端にレベルの低い私立高校を受験して「滑り止め」にしておくという作戦もありますが、それだと次などの公立高校に出願するかという判断材料にはなりません。もちろん特待生の権利確保など、他の使い方もありますが、やはり複数コースを持つ、自分の学力相応の私立高校を受験することが、その後安心して出願につながります。併願私立高校はその範囲で、もしもの時には母校にしてもいいかな?という観点で併願私立高校を選んでみることをお勧めします。



近畿大学附属高校 合格コース別 併願公立出願先割合2020



桃山学院高校 合格コース別 併願公立出願先割合2020



オープンキャンパス 学校説明会のススメ 2020

フリステウォーカー講師編集部/岡市紗典



今年度はコロナ禍のため初頭から休校なども多く、受験生の皆さんは特に不安だったかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は各大学のオープンキャンパスについてご紹介します！春開催のオープンキャンパスは中止になっているものが多いですが、大学によってはオンライン参加できるオープンキャンパスがあり、大学について詳しく知れるコンテンツが用意されています。

オープンキャンパスや学校説明会に参加することで勉強のモチベーションを保ち、受験校選びの参考にしてください！

夏のオープンキャンパス

オープンキャンパスは、主に春と夏に開催されます。春のオープンキャンパスは中止になったものが多いですが、夏(7~9月)のものはまだ中止になっていないようです。(5月8日現在)関西8大学の日程を次にまとめておきます！

また、大学のホームページではオープンキャンパスの日程だけでなく、過去の実施レポートなどでオープンキャンパスの様子を知ることができます。各大学のホームページも一緒に確認してください！

大学	日程/公式HP	大学	日程/公式HP
立命館	未定 	同志社	7/26, 8/2 
関西学院	未定 	関西大学	6/21, 7/25, 8/1, 2, 22, 10/3 
龍谷	8/1, 2, 22, 23, 9/27 	甲南	7/12, 8/2, 10/4 
近畿	7/26, 8/22, 23, 9/27 	京都産業	8/1, 2, 22, 9/6 

近畿大学 「サイバーオープンキャンパス」

近畿大学では、春に開催予定だったオープンキャンパスが中止になり、web上で入場可能な「サイバーオープンキャンパス」が実施されました。そこで行われたライブ配信は開催期間後もYouTube上でアーカイブとして閲覧できます！



このアーカイブには過去のオープンキャンパスの動画もありますので、ぜひ確認してくださいね！また、特設ページでは一部のコンテンツのみですがまだ利用可能です！



立命館大学 「WEBで見る入試説明会」

立命館大学では、「WEBで見る入試説明会」と題して、ホームページ上で学校紹介や、入試案内がされている特設ページが用意されています！



ここでは各キャンパスの学生生活を動画で紹介しており、入試情報を動画で説明しています。他大学と比べてホームページ自体はシンプルなデザインですが、入試情報の動画は詳しく、しかも分かりやすくまとめられています。

関西大学 「WEB版模擬講義」

オープンキャンパスでは、学校紹介の一環として、模擬講義が開かれる場合がありますが、関西大学では、WEB上で模擬講義を受講することができます。



大学生活で何度も受ける講義を体験して、受験勉強のモチベーションに繋がってください！

また、受験生に向けてホームページ上で、大学の研究内容を発表している学部があります。入学後に自分が行う研究について、受験生に向けて詳しく説明されることは珍しいので、視聴することをオススメします！



さらに、関西大学では公式YouTubeやInstagramのアカウントがあり、そこで学校の様子や、受験生に向けたメッセージが紹介されていますので、そちらもぜひ確認してください！



龍谷大学 「入試対策WEB講座」

龍谷大学では、受験生に向けて、龍谷大学の科目別対策講座と過去問題解説講座が公開されています。



公式LINEアカウントの友達限定で公開されているそうなので、気になる受験生は確認してください！

また、龍谷大学では、受験生向けのスマートフォンアプリが公開されています。オープンキャンパスのようなイベントの日程が確認できるだけでなく、過去問やパンフレットがダウンロードできるそうです！

【編集部まとめ】

以上のように様々な大学が受験生向けのコンテンツを発信しています。受験生の皆さんは例年に比べ、大学の情報を手に入れる機会が減ってしまったかもしれませんが、大学側も受験生の皆さんに「自分の大学を知ってほしい」という想いがあり、特設サイトや公式アカウントで皆さんに向けて発信しています。フリステップでも、皆さんの学校選びの手助けになればと公式ホームページや、ブログで発信しています。こういったコンテンツをぜひ利用して、皆さんの学校選びに役立ててくださいね！



首都圏中学入試問題分析

2020年 首都圏中学入試からわかる3つのこと

フリーステップ修学院教室チーフ 住本 正之

中学受験を考えているみなさん、勉強は進んでいますか？小学校の休校のため、学習が思うように進んでいない方も少なくないのではないかと思います。塾での学習内容にかかわらず、中学受験に關して気になることがあれば、お気軽に教室チーフや講師にご相談ください。

今回は今年1月・2月に実施された首都圏中学入試から、ポイントになることを三点、説明していきたいと思っています。

大学一貫教育校の 人気上昇

中学受験を実施する私立中学校のほとんどが、併設している高校との六年間中高貫教育を実施しています。いわゆる「早慶」や「MARCH」などと称される、首都圏にある有名私立大学も、そのほとんどが、大学の附属校、または系列校としての高校や中学校を有しています。中学を有しない大学系列の高校(例：早稲田大学本庄高等学院、中央大学杉並高校など)もありますが、中学校から一貫教育を実施しているところが多くなっています。そのような中高大貫教育を実施している大学系列の中学校の人気の近年高くなっています。資料①【】に示したのは、東京都と神奈川県の子立中学入試初日となる2月1日実施の入試における、有名私立大学の附属校・系列校の中学入試の合格実質倍率を、2020年入試と2016年入試で、抜粋してまとめたものです。

早稲田大学高等学院(中等部)、慶應義塾普通部のほとんどの卒業生が進学する慶應義塾高校、中央大学附属か

英語で受験可能な 中学校が急増

中学受験に関する私のコラムをお読み下さっている保護者の方のなかには、公立中学校への進学を前提に算数(数学)、国語、または英語の学習をフリーステップで進めているというお考えの方もいらっしゃるかと思います。

首都圏の場合、多くの私立中学校が入試科目を国語・算数・理科・社会の4

教科を設定しています。国語と算数の2教科を入試科目としている中学校も多くあります。関西地方の場合は国語・算数・理科の3教科入試(または4教科入試との選択制)としている中学校もあります。一方で、ここ最近増えてきているのが、英語を入試の選択科目とする中学校、または英語のみの入試方式を導入する中学校です。

【資料③】に示したのは、中学入試において英語を入試科目(の一部)としている中学校、または英語の検定資格を受験要件としている中学校の数です。帰国生や海外居住経験者を対象とした入試では、英語を入試科目としている中学校はもとと多いのですが、【資料③】に示したのは帰国生や海外居住経験を出願要件としていない入

らは、希望者のほとんどがそれぞれの系列大学に進学が可能です。立教女学院と香蘭女学院はともに立教大学の関係校で、ともに定員の6割程度の人数が立教大学に推薦入学が可能となっています。2016年と比べて、どの学校も倍率は高くなっています。

有名私立大学の関係中学の人気の高くなっているのは、それらの大学の一般入試が激戦りとなっていることが影響しています。【資料②】では有名私立大学の商学部・経営学部(2019年実施の、3教科型一般入試の実質合格倍率をまとめたものです。

商学部に限らず、私立大学の中では

資料① 2月1日 大学系列の中学校の入試倍率

	中学校名	2020年入試倍率		2016年入試倍率
		早稲田大学 慶應義塾普通部 中央大学附属	立教大学 香蘭女学院 中央大学附属	
男子		3.1倍 3.1倍 3.5倍	2.6倍 3.0倍 2.9倍	
女子		2.5倍 3.9倍 3.6倍	2.0倍 1.6倍 2.7倍	

※各中学校ホームページや学校配布資料参照
倍率は入試当日の実受験生に対する合格者数から計算。中央大学附属と香蘭女学院は2月1日実施回の倍率。

資料② 2019年私立大学(商学部 経営学部)一般入試(3教科型)

	合格倍率		
	早稲田大	明治大	中央大
商学部	11.3倍	6.8倍	6.5倍
経営学部	9.2倍	11.1倍	9.1倍

※各大学のホームページ掲載資料参照。倍率は入試当日の実受験生に対する合格者数から計算。
3科目型の一般入試の倍率。センター試験利用入試は除外。
早稲田大以外は全学部日程と学部個別日程を合計して計算。
本原稿作成時点では2020年の入試統計が公表されていないため、2019年度のデータを掲載。

たことで、それぞれ、近年人気が高まっています。

有名私立大学自体の人気のブランドイメージの上昇もありますが、各大学共通の事項として、入試倍率上昇の大きな要因となっているのが、文部科学省による大学の「定員厳格化政策」です。「定員厳格化政策」の影響で、首都圏や関西圏などの都市圏の私立大学が軒並み、2017年以降の入試で、それまでよりも一般入試やセンター試験利用入試の合格者数を抑制するようになりました。加えて、AO入試や自己推薦入試、指定校、協定校からの入学など、一般入試以外の方法による入学者が増える一方で、一般入試の定員は少なくなる傾向にあります(「定員厳格化政策」については、本誌2017年9月号(107号)の「入試情報室より」のなか「私立大学 入学定員厳格化を考える」を参照ください)。

例えば、早稲田大学もMARCH各大学も、公立高校からも数多く合格者を輩出していますが、公立高校からの2020年合格者数1位が、早稲田大の場合は東京都立日比谷高校、明治大の場合は埼玉県立浦和高校と、ともに東京・埼玉の公立最難関高校となっており、両校とも東京大学の合格者数は、例年全国の公立高校のなかでトップクラスとなっています(東京大学合格者数2020年実績 日比谷高40名浦和高33名)。

もちろん、日比谷高校や浦和高校からの受験生が、早稲田大や明治大に全員合格できるという保証はありません。公立高校入試においては、どの都道府県においても、難関とされる公立高校ほど中学校の成績を高く揃えてお

試を前提としたものです。なかには英語のみを入試科目としている中学校もあります。

【資料④】と【資料⑤】に示したのは英語のみの入試方式も実施している中学校の英語入試問題からの抜粋です。

【資料④】が桐朋女子中(東京・調布市)、【資料⑤】が聖ドミニコ学園中(東京・世田谷区)の英語入試問題の一部です。紙面では筆記問題の一部を掲載していますが、両校ともリスニングやスピーキング(面接)などを組み合わせ、英語力を総合的に測る入試としています。学校によって求める英語力は違っていますが、英語単独の入試の場合は英検3級から準2級以上、算数や国語との組み合わせの入試の場合は英検4級以上が目安となるでしょう。

私立中学における英語入試が増加している理由は、帰国生や海外居住経験者以外でも、小さいころから英語を学び、英語が得意で好きな小学生が増えていることが挙げられます。4教科学習の中学受験勉強を進めてこなかっただ小学生にも、中学受験のチャンスを提供したいという、中学校側の考えもあります。

英語が得意であつても、志望する私立中学の入試科目が英語以外の国算理社であれば、その入試のために4教科の学習を着実に進める必要があります。しかし、国語と算数の学習は小学校ベースに進めるとしても、他の習い事などで理科や社会の学習の時間がなく、今が小学6年生で、理科や社会の中学入試の全範囲を学習するには

資料③ 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木)における入試で英語受験が可能な国立・私立中学校の数(帰国生入試は除く)

2014年	15校
2015年	33校
2016年	64校
2017年	95校
2018年	112校
2019年	125校
2020年	141校

※首都圏模試センター調査による

資料④ 出典：桐朋女子中学校(東京) 英語入試問題

Summer Camp Information

When does the camp take place?
Our summer camp takes place on Shitohsawa University's campus, in the beautiful city of Fushimi.

How to get to our campus
You can get to our campus from Shitohsawa Airport by subway, bus, or train.

	Fare	Time needed	Other information
Subway	¥110	30 minutes	Take the Asagiri Line from the airport, change to the Keio Line at the Shitohsawa University Station.
Bus	¥110	30 minutes	The bus leaves the airport from 7:00 to 19:00.
Train	¥110	30 minutes	

When does the camp start/finish?
Dates: Sunday, July 18, 2020 - Sunday, July 25, 2020
Arrival: Please arrive between 8 and 9PM on Sunday.

Activities
Please check our website, and find information about the three activities of the camp. Please choose one activity, and let us know by the end of June.

SEE YOU SOON!

問題 学校のホームページに、7月18日から25日の夏休み期間中の入試問題が掲載されています。その中から1つずつを選び、解答してください。

(1) When you go to Shitohsawa University from the airport, the cheapest way is to go
① by subway.
② by bus.
③ by train.

(2) If you are at the airport at 5:30PM on Sunday, you should go to the university
① by bus.
② by train.
③ by bus or by train.

(3) The teachers will
① check the website of the camp and choose what to wear in June.
② check the website of the camp to find the best way to go to the campus.
③ check the website of the camp and decide which activity to take.

資料⑤ 出典：聖ドミニコ学園中学校(東京) 英語入試問題

Part 1

Read the information below and choose the best answer to fill in each blank. Then, write A, B or C in your answer paper.

このパートでは正しい英文をなるとし、空欄に入る最も適切なものをA・B・Cの中から1つ選び、記号で答えます。

1. He _____ his homework at home.
A. study B. read C. does

2. Jack won't fully _____ the meaning of June 1st.
A. in B. on C. at

3. It is _____ better here in Tokyo than in Hokkaido.
A. more B. much C. very

4. We are very _____ of Mr. Brown's P.E. class.
A. fond B. find C. like

5. The guide tells the visitors that they should _____ going out at night because there are some dangerous places near the hotel.
A. run B. avoid C. enjoy

6. Nick: Hi, Bob. Are you Mary's brother?
Bob: No, I'm not. He's a friend of _____.
A. mine B. her C. your

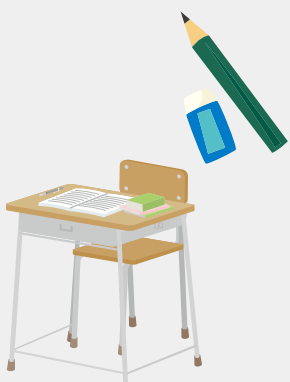
7. Tom: I find this movie is very interesting. Why don't we go to see it this evening?

Part 2

Read the characteristics of the countries in the table. Find the name of each country from the list below and write the names in your answer paper.

下の表にはいくつかの国のそれぞれの特徴が書かれています。リストの中から各特徴の下の国名が当てはまる国を選び、解答欄に書きます。

	Characteristics of the countries
1	• Third largest country in the world. • Largest consumer and producer of shale gas. • Largest producer of shale gas.
2	• Largest agricultural country in Europe. • Has the world's largest number of airports. • About 75% of electricity comes from nuclear energy.
3	• One of BRICS countries. • Economic production is expanding. • A former Portuguese colony.
4	• Has the third largest carbon dioxide emissions to the world. • A leading country of IT industry. • Second largest population in the world with over 20 official languages.
5	• Plays a central role of BRICS. • Almost the same size as Tokyo's 23 wards. • Known as the Last City.
6	• World's leading cocoa producer. • Crude oil production is relatively stable. • Naguchi Hakuryu worked and died here.



時間がない、というご家庭もあるかと思いますが、もし、英語の学習を進めてきて、英語をより勉強したい、英語を活かした将来を考えたい、というお子さまの場合、英語を入試科目としている中学受験は進路選択の幅を広げるものになると思います。



戦後の教育改革

1945年(昭和20年)8月、太平洋戦争はボツダム宣言受諾による無条件降伏で終わりました。実はその後も北方ではソ連との交戦状態が続きますが、国土の大半の統治権はGHQに移る事になりました。

学生・生徒は疎開や勤労動員、中には学徒動員などで学業が中断されていましたが、特に被害の大きかった都市部も含めて元の学校に生徒が戻ってくるようになりました。東久邇宮内閣は平和国家の建設を目指して、謙虚に反省する教育をめざし、敗戦の原因は国民の精神にあるために「改めて教育勅語を謹読し、その御垂示あらせられし所に心の整理を行われねばならぬ。」(当時の文部大臣である前田多門氏の訓示)とあるように、国体護持(立憲君主制の維持を前提とした改革を進



めようとなりました。しかし、軍国主義と極端な国家主義を徹底的に排除する方針のGHQは、教育内容、教育関係者、教科書を徹底して点検し、取り締まるという管理を実行し、軍国主義者を教職から追放し、神道に関わる教育や行事を厳禁、「修身」「日本歴史」及び「地理」の3教科の授業の中止という、当時の人々にとっては衝撃的な指示がなされ、旧体制による教育は解体されることになりました。

戦時中の日本では、英語が「敵国語」として排除されていたのと違い、アメリカは日本文化、日本語の研究が盛んでした。文化人類学者であるルース・ベネディクト(Ruth Benedict, 1887年6月5日—1948年9月17日)の著した「菊と刀」という有名な日本文化論も、戦時中の調査に基づいて書かれています。教育に関してもアメリカの専門家J・D・ストッダード(J・D・Stoddard ニューヨーク州教育長官)などによって日本



の戦前の教育に関して詳細な調査がすでになされており、1946年3月には来日し、6334制と教育委員会の設置による教育行政の分権化、教員養成を広く門戸開放するそれまでの日本では教員になるには師範学校のみ)など、数多くの詳細な改革を提案しました。

その提案を受けて、GHQの勧告によって作られた「新教育刷新委員会」が新たな建議や「教育基本法」、「学校教育法」などを中心とする教育法制、教科書の発行・採択制度を次々と作っていきました。特に教育基本法の第一条(教育の目的)では、「教育は人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主

的精神に満ちた心身とともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と、なんとも立派な言葉で綴られています。第三条では教育の機会均等、第四条では九年制の義務無償教育、第五条では男女教育、第六条では学校教育の公共性の確保、第八条、第九条では政治的宗教的中立、など、今の学校の基本となっている法制がこの時に作られていきました。

しかし、戦後のこの時期、国民レベルでも国家レベルでも経済的に破たんしており、学校の建設や補修はおろか、教員の給与も予算化できないこの状況でしたが、この法整備と執行に関してGHQの承認を取り付け、ついに1947年2月26日、政府決定がなされました。しかし、1947年4月からの6334制への移行が、その1ヶ月前に決まったのですから、各地で大混乱が起きました。青空教室といわれる、校舎は戦災で破壊されているのでその跡地や近くの広場での

授業は有名ですが、個人の協力や負担を元に物置や工場跡を使った仮校舎での2部、3部授業は当たり前で、机や椅子も生徒持参、持参できない生徒のために間に板を渡すなどといった状態だったそうです。地方でも学校建設に関しては市町村長が引責辞任、中には自殺者が出るなど、悲惨な状況だったそうです。もちろん教科書もノートも無く、筆記用具もありませんが、なんとこの年の小学校の就学率は99.79%と、信じられないような高い数値となりました。当時の人々の学校に対する期待の高さがうかがわれます。

当時の様子を、その場で教員として働いていた大村はま先生(1906年6月2日—2005年4月17日、日本の国語教育家の講演会で、直接体験談を聞く機会がありました。

The educational reform in the postwar period

モを包んでいた新聞紙をちぎって生徒に渡してやると、立って柱にもたれて長さが2cmも無いような短い鉛筆でたどりながら、一文字一文字読もうとしている。この一生懸命な姿をみて、子どもの学びたいという本能を知った、という内容だったと思います。大変な環境の中ではありますが、精神的には戦後体制に移行した自由な空気が満ち溢れていたのでしょう。



高等学校は当時から今と同じように義務教育ではなく入学が自由な学校として設置されましたが、「小学区制」「総合制」「男女共学制」の高校三原則が導入されました。しかし、男女共学制については男女が同じ場所共通の科目を学ぶことは強制されず、特にGHQの担当者が寛大であった東日本では戦前の旧制中学と旧制女学校をそのまま引き継いだ公立高校が公立の男子校、女子高となつて存続しているものも

見られます。逆に西日本では担当者が厳しかったので、公立の男子校、女子高はほとんど残っていません。共学という自由なイメージがありますが、これは強制されたものだと考えるとなんだか複雑です。

さて、この時にアメリカ軍の統治下であった琉球は違った道をたどることになります。まず住民は知念や名護、宜野座などのキャンプに収容され、居住地への帰還が許されたのは1946年の事です。その後、軍政府が琉球の教育を統制する中央機関として「文教部」という機関を作り、学校教育が再開されます。設備としては米軍のテントなどに15歳以下の子どもを集めて授業をするものでした。しかし、軍政府は予算化には消極的で、1クラスに1週間、紙は30枚以下(4年生以下)、または50枚以下(5年生以上)、鉛筆は1ヶ月に6本、教員にはチョークが1ヶ月に6本などと、ほとんど授業のできない状況で、内容も極めて粗末なものだったと言われています。それでも就学率は高かったのですが、それは米軍の通達で就学の義務は負わされたためだという意見もありですが、実は琉球の生徒や保護者も戦前から教育に対する

関心はとても高く、1908年で92.8%と高水準になっています。戦後混乱期のデータはありませんが、1954年には99%を超えていたという記録もあります。

教育法制については、本土と連携を取り、1960年に入ってからには研修会なども共同で実施していたようです。しかし、教科書編纂や課程については独自のもので、当時から小学校1年生からの英語教育が行われていました。

因みに高等教育機関(大学)は戦前から琉球にはありませんでした。しかし、軍政統治下で教員養成学校を母体としてようやく1950年に琉球大学ができます。しかし、設置されていない専門分野に進むとなると、他のアジア諸国からの留学生と同じように本土の大学に「留学生」として入学していたそうです。

1971年5月に沖縄返還協定が調停され、1972年に沖縄県が発足したときに初めて本土の制度と統一されました。

戦後の大きな教育内容の変更点は、知識注入型から「自由研究」や「コアカリキュラム」(子どもの生活の中の問題解決や学びを中心として配置されたカリキュラム)など生



徒の立場を重視したものに变化した事です。地理や歴史にしても、戦前では国家としての正統性を主張するという目的でしたが、地域研究など現代社会の関係も理解し、民主主義社会に対する理解を作るという目的に変化しています。

さて、このように華々しく始まった戦後教育はその後東西冷戦、高度成長、グローバル化、少子高齢化、デジタルコンテンツの開発が一気に進むことになりました。長い休校で子どもたちにはストレスが溜まったと思いますが、戦後の混乱期の事を思えば、恵まれているといえるでしょう。

参考文献

- 尾崎ムゲン 日本の教育改革 産業化社会を育てた130年 中公新書 1999
- 大村はま 教えるという事 共文社 1973
- 澤舘悦子 「戦後沖縄にみる教育の復興」 沖縄の教育復興経験と平和構築 JICA研究所 2005
- 「教育工学事典」 実教出版 2000
- 「教育の方法と技術」 ぎょうせい 1993
- 「新教育学大辞典」 第一法規出版 1990



藤山正彦 先生
《最終学歴》
大阪大学
人間科学研究科博士前期課程修了
人間科学修士(教育学)
《所属学会》
・日本教育学会・日本教育工学会・教育心理学会

フリステWalker執筆者座談会



企画広報課 課長
秋田 弥

個別指導部 教務課
安在 浩義

香里園駅前教室 チーフ
松本 克彦

入試情報室 室長
藤山 正彦

フリステWalker 創刊号 ▶



フリステWalkerは、141号を最後にWEB化し、リニューアルすることになりました！今後、「開成教育グループ会員サイト」から定期的にご案内することになります。

そこでWEB化に伴い、今作141号では、創刊者の松本先生、現執筆者の藤山先生、安在先生、講師編集部でフリステWalkerに込めてきた想いや今後の発展について語り合いました！フリステWalker制作に隠された執筆者の裏側に迫ります…！

司会 秋田…まずは自己紹介をお願いします。

藤山…成学社入試情報室長の藤山正彦です。過去のフリステWalkerとの関わりは2012年の7月号から8年間、「フチ教育学」を連載してきました。2016年から部署が個別指導部から入試情報室に変わったので「入試情報室より」というコーナーも同時に担当しています。

松本…現在、フリーステップ香里園駅前教室でフランチャイズオーナーとして教室チーフを務めております。成学社時代は、企画広報室長をしていました。フリステWalkerは、平成20年に創刊ですから、私が最初に関わってから、もうかれこれ12年経つですね。フリステWalker第1号から、100号まで編集長として関わっていました。広報誌という形で各家庭に単なるお知らせだけでなく読み物として成り立つ情報誌として企画し、編集と制作にあたっていました。

安在…安在浩義です。今本社では個別指導の企画チームとして各教室や家庭から情報を集め、それを記事にする仕事をしています。フリステWalkerに関わったきっかけは、松本先生に声をかけていただき、企画チームに入ったことです。今担当は変わってしまいましたが、継続してフリステWalker制作に関わっています。

司会(秋田)…皆さんにフリステWalker執筆者編集の思い出、フリステWalkerに対する想いをお聞かせしたいと思います。

藤山…これは当初から月刊でスタートしたのですか？

松本…当初から月刊でスタートしました。実は、当初フリステWalkerをつくらうとしたとき、とても反対されました。なんせ、毎月36ページの刊行物を毎月発行するということですからね。継続して保護者、生徒が本当に満足する内容を提供し続けられるか、継続性とクオリティの維持についての指摘があったからです。ですが、もともとフリーステップについて知っている人を増やしたかったのと、普段フリーステップに通っている生徒の保護者に塾を紹介する冊子をプレゼントしたかったので発刊に踏み切りました。始めてみれば、なんと10年以上もクオリティを損なうことなく続いていますよね。その点でも始めてよかったと今改めて思います。

司会 秋田…次に、安在先生お願いします。安在先生は今もフリステWalkerで編集されているので、特に苦労話などはたくさんあると思いますがどうでしょうか？

安在…私はこの仕事をする最初に個別指導部として何をフリステWalkerで発信したいのかを考えていました。フリーステップに入って感じたのは、フリーステップにはものすごくツールが揃っていて、それが論理的に組まれているということですね。だからこそそれを説明すれば保護者の方に入学していただける要素になり得ます。これが教室で働いている時に実感したことですね。そして本社に入ってから、フリーステップには豊かなツールがあり、そのツールを支えている人が沢山いることを知らせたと思います。教室にいただけではわからないことでしたので、保護者の方や生徒にとってはもつと見えにくい魅力がフリーステップにあることを発信したい気持ちが強まりました。

司会 秋田…最後に読者の方に一言ずつ挨拶をいただけたらと思います。

藤山…私が一番ありがたいと思っているのは、読者アンケートです。このアンケートを楽しみて、「読んでいただけてるんだな」「こんな視点で捉えられたのか」と励みになっています。「フチ教育学」をどんどんこれから子育て

藤山…長く仕事をする中で、何千人もの保護者の方から聞いた悩みや質問などが、執筆する上でのヒントになっています。教育心理学と聞くと、難しい言葉で解説がされていますが、根本は「教育、子育てを改善した」という熱意で書かれているので、その熱意と実際の保護者の方の悩みを組み合わせる執筆をしています。



司会 秋田…では次に、松本先生お願いいたします。

松本…私はそもそもなぜフリステWalkerを創刊しようと思ったのかを話そうと思います。フリーステップに通う生徒や保護者が、実際に直接関わりを持っているフリーステップの人間は、担当講師と通っている教室のチーフだけですね。フリーステップの教室は沢山のあり、講師や運営するチーフが各教室にいます。大きな組織としてのフリーステップをどのように伝えるか考えたとき、保護者や生徒の皆さんにフリーステップにどれだけ沢山の多様な人材、いろいろなイベント、フリーステップが生み出した合格実績や点数アップ、そして教室での様々なエピソードなど、広報誌を通じて知ってもらうことが大切だと考えました。そのために、毎号どれだけ沢山の教室名を出せるかにこだわりましたね。過去を振り返ると、各教室のチーフを2人ずつ毎号紹介した記

事や、いろんな教室の生徒からそれぞれの通う学校についてインタビューした「高校生活の実態教えますベシヤル」という連載、様々な仕事について分かりやすく説明した「キャリアデザイン相談室」、生徒の参考書選びに役立つよという参考書めぐりという連載、またアフリカ一周した講師の記事など、様々な人が関わっていることを伝えたくていろいろな盛りだくさんの連載記事を掲載しました。単に学習アドバイスや受験情報を載せるだけでは、インターネットで検索すればどこでもあるものになってしまいます。そうではなくて、受験情報も含めて、「この広報誌はフリーステップのつくったものなのだ」「フリーステップからの発信なのだ」と、フリーステップに所属していること、通っていることの価値を感じてもらえるようにと思いつながら企画制作にあたりました。

司会(秋田)…松本先生が、編集する中でモチベーションになった出来事はありましたか？

松本…アンケートハガキで、私が当時執筆していた「受験勉強法指南」という勉強法についての連載記事に関する感想が6割から7割を占めていて、たくさん読んでくれる人がいることが嬉しかったですね。また、私は成学社を退職後、香里園駅前教室でチーフを務めていたのですが、教室開校時の頃に勤務してくれた医学部医学科の講師が、私が長期連載で書いていた、語源から英単語を分かりやすく解説した「英単語」の読者で、私が執筆者と知ってとても驚いていました。彼自身はフリーステップの生徒でなかったのですが、彼の弟がフリーステップに通っていて、家に毎月届くフリステWalkerを必ず読み、勉強に活用していたということでした。このことはとても嬉しかったです。見えないところにいる読者がいかにフリーステップを知ってもらえるかという課題の成功例だと思えます。

今後WEB化される際にはそれを意識して、「なぜこの記事を載せるのか」という目標を持ち、保護者だけでなく、高校生向けのページ、中学生向けのページ、小学生向けのページがそれぞれあるととってたくさんの人に読んでもらえるフリステWalkerになるのではないかと期待しています。

藤山…過去8年間「フチ教育学」を書いてきましたが、本来教育学というものは保護者の方にとって縁遠いものなのではないかなと思っています。しかし子どもを教育するうえで大事なものはやっぱり保護者の方々なので、教育学の知見を少しでも知ってもらえたらと思い、「フチ教育学」を連載してきました。現在、教育改革、入試改革などで教育界はどんどん変化していますが、教育学の中ではこのような改革は20年前に議論されたものです。しかし、議論こそされているとはいえないきなり教育や入試が変わると保護者の方も生徒も、とても不安になると思います。だからこそ、教育学を通して早い段階から教育の変化について予測することが目の前にある不安をなくすることにつながると思います。

司会 秋田…思い出に残っている記事はなにかありましたか？

藤山…過去に2回ほど記事にしていますが、「フチ教育学で「テスト不安」というテストが近づく勉強から逃れたい」という心理を紹介しました。少しでも子育ての助けになればと思い書きました。また、諸外国の比較として、世界の教科書を紹介しました。これは執筆に3日間ほどかかり大変でした。そのほかに、学校の教室の大きさや階段の高さが決められている理由なども実際に学校建築の設計者の方に聞いたり、制度を調べて執筆したり、ということもありました。まとめること、教育に関するテーマで深掘りしたものをみていただくことをモットーに「フチ教育学」も「入試情報室より」も執筆してきたと言っています。教育学は大学院で2年間学びましたが、現在も毎月教育学の学会誌を読んで、その知識も合わせて紹介しています。

「入試情報室より」では、最近は英語の外部検定の比較について紹介しました。実はWEB上で探しても英語の外部検定を比較するサイトは意外と無いのです。あつたとしても、「英検がいかにすばらしいか」という結論に誘導するためのページだったりします。このようにネットの情報では得られない、客観的な比較をしています。

司会(秋田)…教育学には、難しい部分もあると思いますが、子育てという身近なテーマに還元する際、どのように工夫されていますか？

てに活用していただいて、古い号のものでいいのでアンケートを書いていただけると嬉しいです。

松本…これからWEB化するにあたり、バックナンバーが関連記事として出せるように準備が必要だと思います。検索機能も活用していただければ、バックナンバーから情報を入手することができるようになるので期待しています。

安在…WEB化すること、文字だけでなく、少し違った視点でフリーステップがどのように動いているのか、たくさん伝えることで、保護者の方を安心させることができたかなと思います。

司会(秋田)…本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。



座談会を通して

10年以上続いていた情報誌「フリステWalker」がWEB化するにあたり、当時の創刊者、現在の執筆、編集者が集まって語り合っていました。歴史が長い分、とても濃い内容の座談会でした。三人の先生に共通していたことは、「保護者、生徒にフリーステップに通っていただいている価値を感じてもらったこと」でした。座談会で多く出ていた「フリーステップであることの価値」というキーワードは、ブロックリダー座談会や、先月のチーフインタビューでも出てきた言葉でした。今一度原稿を書く際に「何のためにこの記事を執筆するのか」「目標を持つことが、これからも大切だと感じました。そして、講師編集部として、今回の座談会の内容を継承していきたい」と思います。

皆様から頂いた アンケートを ご紹介します！

■点数アップ高得点獲得おめでとう!!

- ・点数アップの所にいつかは我が子も載ってくれと嬉しいです。(長瀬駅前教室)
- ・いつも点数UPのページに通塾している教室がのっているか確認しています。自分が点数UPし、ページにのれるように頑張ると言っています。息子にとって良い刺激をうけるページです。(北巽教室)
- ・同じ教室に通っている方の成績アップを見て、自分も頑張るとやる気になっています。(門真南教室)
- ・「点数アップ・高得点獲得おめでとう!!」のページを見て、我が子もそつなつてほしいと思いました。(南草津教室)

■フリーステップ×代ゼミサテライン

W受講のおすすめ

- ・「W受講のおすすめ」これから始めるので参考にさせていただきます。予習、復習が定着してくれると思います。(千里山田教室)
- ・フリステ×サテラインのW受講のメリットなど分かり参考になりました！いよいよ受験学年というスィッチも入ってきた様です。(塚口駅前教室)

■関西有名私大比較

- ・3月号関西有名私大比較の中の卒業率の話は、今まで入学することばかり考えていたので目からうろこで、大学・学部によってばらつきがあることがわかり大変参考になりました!!(四条畷教室)

- ・関西有名私大比較の中で、卒業率を取り上げて下さっていて感心しました。大学選びにはこの様な視点も必要かな、と気がききました。(南茨木駅前教室)
- ・一般入学率と卒業率が見れて今の現状を把握できました。(河内天美駅前教室)

- ・関西有名私大比較は参考になりました。高校へ入学しても3年という短い期間で次の進路を決めないといけないので、大学によって色々分析されていて勉強になりました。(蒲生教室)

- ・関西有名私大比較とても興味深かったです。私大も生き残りをかけて早くから学生を確保する傾向にあり、一般入試は狭き門になっていますね。明石大久保教室
- ・関西有名私大比較は、興味深く読みました。(高槻北教室)

■小学生と中学生の違い

- ・小学生と中学生の違い、3月からお世話になる妹と一緒に読ませていただきました。勉強やる気になります!!ありがとうございます。(戸田公園教室)

■2020年度点数アップ合宿のご案内

- ・点数アップ合宿があるのですね！残念ながら関東ではないようですが、点数アップ教室には参加しようと思っています。中学のテストが不安なようなので、勉強のコツをしっかりと学んでくれればと思っています。(戸田公園教室)
- ・点数アップ合宿の内容についてくわしくわかってよかったです。(都島ヘルファ前教室)
- ・「点数アップ合宿」の記事を興味深く読ませていただきました。まだ数年前のことですが、ぜひ参加させたいと思いました。(西明石教室)

■首都圏・近畿圏有名中学校入試分析

- ・首都圏中学入試問題分析について、子どもが受験する学校で出題されるか分かりませんが、今後増えていくであろう国語力を問われる問題について、とても興味深く読ませていただきました。(西田辺教室)

- ・首都圏中学入試問題分析のページで、歴史分野は絵やマンガでイメージをつかむ、というのは実践してみたいと思いました。(JR茨木教室)

■大学入試「超安全志向」を検証する

- ・「超安全志向」を検証する 記事に興味があります。日々の学習を頑張っているので、大学受験につながるのいいなと思います。(阪急伊丹教室)
- ・入試情報室の大学入試の動向についての文面を読み参考になりました。(長浜教室)
- ・藤山先生の「大学入試「超安全志向」を検証するがスゴイ」と思いました。(南茨木駅前教室)
- ・大学入試「超安全志向」を検証するを読ませていただきました。今年度から大学入試制度が変わるということでご親としてもとても不安です。が、一歩子どもと共に進めて行こうと思っています!!これからもよろしくお願いします。(川西駅前教室)

■講師編集部 座談会

- ・講師編集部座談会を読んで、仕事内容は違いますが自分のしてきた事と似ている部分があり「わかる!わかる!」と思いながら読んでしまいました。(なかもつ駅前教室)

■ぶち教育学

- ・藤山先生の「ぶち教育学」筆算と暗算については興味がありました。(日生中央教室)
- ・藤山さんのお話とてもわかりやすく大好きです。(上本町教室)

■全体の感想

- ・ぶち教育学、風立ちぬの堀越さんが持っていた定規が計算に使われていたと知り驚きました。小学生の中学受験の論述問題は中2ですが娘に出題してみました。全く言葉がでてくず、課題が見つかりました。今後ともよろしくおねがいいたします。(上ヶ原南教室)

- ・入試情報載っているのが参考になります。まだ先の話ですが、今から準備できるのでありがたいです。(堅田駅前教室)
- ・点数アップ合宿があるかと思ったら野球のフリーステップDayもあるなんて幅広いですね。(上新庄教室)

- ・大学入試の検証、参考になります。今年度の解析を楽しみにしています。(河内天美駅前教室)
- ・ぶち教育学、講師編集部座談会、興味深く読みました。どんなにやりたいと思った仕事でも、ただ楽しいのではなく、いろいろな苦労があり、日々成長してこそなのだということが伝わり、娘にも知ってほしいと思いました。(高槻北教室)
- ・知らなかった受験の情報がたくさんあり、とても勉強になります。(武蔵浦和教室)

フリステWalker リニューアルのお知らせ

いつもフリステWalkerをご覧ください、誠にありがとうございます。

これまで月に一度お届けしてまいりましたフリステWalkerが、この度WEB版としてリニューアルいたします。最新の情報をスマートフォン、パソコン、タブレットから、よりお手軽にご覧いただけるようになります。フリステWalkerは、これからも塾生・保護者の皆さまにとって有益な情報を提供してまいります。